

## 1. 平成25年度以降の経緯

○平成25年2月：組合管理者の附属機関として次期中間処理施設整備事業用地検討委員会を設置

○平成25年12月：用地検討委員会が、候補地選定方法に関する中間答申書を管理者へ提出、候補地を募集し、6箇所の応募を受理した。

◎候補地：草深地区、武西地区①、武西地区②、滝地区、岩戸地区、吉田地区  
※後に草深地区と武西地区①は辞退し、最終的に応募地4箇所に現在地を加えた5箇所について比較評価を実施した。

○平成26年7月：吉田地区から同意書及び地域振興策の提出があった。

【条件】最適地として判断された場合に、吉田地区が希望・提案する地域振興策を真摯に受け止め、協議の上両者の妥当な同意を見だし、これを担保すること。

○平成26年9月：用地検討委員会が、候補地の比較評価結果に関する最終答申書を管理者へ提出し、建設候補地選定会議にて、吉田地区を建設候補地として選定した。特に今後重視される周辺住民との合意形成に関して、優位性が高く評価された。

### 【吉田地区の主な選定理由】

- ① 『事業誘致の同意書』、『地域振興策の具体的な提案書』が書面で提出され、早期に協力・共同体制を構築することが可能。
- ② 候補地の土地所有者の多くが吉田地区に現住しており、円滑な事業推進が期待できる。
- ③ 候補地面積の約65%が畑であり、周辺についても大きな畑が隣接しており、将来的な事業用地拡張を考慮しても、里地里山の中心である森林の伐採面積が比較的少ない。

○平成27年2月：組合管理者の附属機関として印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業施設整備基本計画検討委員会（以下「施設整備基本計画検討委員会」という。）と印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業地域振興策検討委員会（以下「地域振興策検討委員会」という。）を設置した。

○平成27年2月：選定後の吉田地区への住民説明会（建設候補地の選定結果の報告、当面スケジュール（案）の提示）を開催した。

○平成27年3月：吉田地区長と「次期中間処理施設整備事業の施行に関する基本協定書」を締結。吉田地区の地権者を対象に説明会を開催。

## 2. 今までの経緯から残されている課題

### 1) 住民説明会・意見からの残された課題

これまでの周辺住民意見交換会等で寄せられた住民意見等を踏まえ、今後十分な説明が必要とされる事項

- ① 印西地区では、一般的に迷惑施設と認識される公共施設の多く（印西クリーンセンター、最終処分場、印西斎場、印西霊園等）が印西市内に偏在しており、不公平感がある。
- ② 建設地周辺における不動産価格の低下、健康被害及び農作物への実害（風評被害を含む）。
- ③ 建設地周辺におけるごみ収集車の通行による交通量増に伴う排ガス、渋滞及び事故等の懸念。
- ④ 現印西クリーンセンターは長期的視点で決定された都市計画に基づく公共施設（既に建替用地を保有）であるにも関わらず、何故現在地で整備しないのか。
- ⑤ 豊かな自然環境（里地里山）の減少、破壊。

### 2) その他、施設整備に伴う調査や事実に基づく課題

- ① 防災調整池からの地区外水路の整備が必要となる可能性がある。
- ② 候補地西側の小高い山で猛禽類（オオタカ、フクロウ）が確認されている。
- ③ 事業予定地に隣接する幹線道路がないことから、アクセス道路の整備が必要である。
- ④ 土地所有者の事業同意を保全する必要がある。
- ⑤ 地域振興事業を行うにあたり、新たな用地が必要となる可能性がある。
- ⑥ 候補地東側に隣接して太陽光パネルが設置され、施設整備による日照の問題が懸念される。



- ⑦ 松崎地区には反対住民もいる。
- ⑧ 将来的な焼却処理能力の確保について